

クラス：A

グループ：4

選んだケース：ケース3

1. レディネスとニーズ分析

在留資格	技能実習第3号（団体監理型）
在留資格移行見通し	特定技能1号
日本滞在歴	4年目
職種	食品製造関係 そう菜製造業（そう菜加工） ⇒ 飲食料品製造業
国籍、人数内訳、学歴等	インドネシア（20名） 大卒：5名（26歳～28歳）／高卒：15名（22歳～25歳）
日本語学習歴	入国前研修：160時間 入国後講習：160時間
日本語能力等	レベル：A2? A2+? B1ではない 職場や日常生活における基本的なコミュニケーションを図ることはできるが、少し複雑な局面や配慮が求められる場面で、言語活動の目的を果たすことは難しい。聞き取りについては、業務や生活などで日常的に行われるコミュニケーションにおいては、特に相手が話し方やスピードに配慮しなくても聞き取ることが可能。業務上でしばしば目にする言葉については、漢字語彙であっても読んで意味を理解することができるが基本的に漢字は苦手で、申し送りの記入等はほぼ、ひらがなで行っている。
就労状況	月曜日～金曜日 9:00～18:00 まで勤務 ※土曜日は不定期で出勤の場合あり
学習期間 学習時間数	6か月 週2回・平日：19:00～20:30／日曜日：昼間に2時間 場所：就労先の会議室、対面
ニーズ・所属機関の要望等	【受入企業からの依頼】 実習生は総じてコミュニケーション力の水準が低く、職場の同僚や上長との良好かつ円滑な人間関係構築ができず、また日常生活においてもスムーズにいかないことが多い。中には日本での生活に強いストレスを感じている実習生もいる。なかなか業務に集中できず作業効率が上がらないなど、そのことが仕事にもよくない影響を及ぼしている。日本語を学ぶことを通して、自分自身で生活環境の向上を図ることができるようになってもらいたい。
その他	実習生は全員スマートフォンを持っている。全員がPCを持っているかどうかは不明。寮にWi-Fi環境有り。

2) 学習者のニーズ・研修依頼者のニーズ

日常生活と職場の日本人とのコミュニケーション・話すということに重点を置く。

⇒職場での作業中の日本語（指示など）には困っていないと思われる。

★（会社から）職場の同僚や上長との良好かつ円滑な人間関係構築を望む。

自分自身で生活環境の向上を図れるようになってほしい：

★（就労者）???職場での人間関係が築けない???

2. シラバスデザイン

1) 授業時間数	週2日 (平日午後 19:00-20:30 1.5 時間・日曜日昼間 2 時間) × 24 回 = 48 回 = 168 時間)
2) コースの方針	社会言語ストラテジー + 談話ストラテジー 口頭運用能力を身に付ける 円滑なコミュニケーションが取れるように 人間関係を構築するためのコミュニケーションが取れるように
3) 到達目標 (Can-do)	* 自分の気持ちや考えをきちんと伝えられるようになり、相手からの質問にも適切に答えられる (キャッチボールができる・会話を続けられる) * 場面に応じた会話の型 (ストラテジー) を身に付ける * 相手の発話の意図を汲み取ることができる * 業務に必要なことは「ひらがな・カタカナ・漢字」を使って書くことができる
4) 学習内容	場面シラバス+話題シラバス 平日 (1.5 時間) と日曜日 (2 時間) にメインテキストとして『Weekly J』 (凡人社) を使う。『Weekly J』は職場の業務外と日常生活が中心。 それを補うために (最後の 2~3 週で) 問題が生じる場面 (ビデオなども利用) などについて考える。 ★複雑な局面や場面でのコミュニケーション 職場の人に見学してもらう機会を設ける。
5) 教材	★平日： 1) 『Weekly J』のみ (90 分授業で内容が収まらない部分は日曜日に復習として扱う) ★日曜日： 1) 『Weekly J』 } あわせて 120 分 2) 漢字学習 } 時間に余裕があれば、学習者の悩みの共有・年中行事などの話題 ★【自律学習】学習者が必要な漢字を Quizlet などを使って強化していく。

3. カリキュラムデザイン (学習計画および学習目標)

回	授業の内容	学習目標	教材
1 回	オリエンテーション 1) このクラスのカリキュラムや目標 (日常生活の日本語 = 日本人とのコミュニケーションが円滑にできるように) の説明 2) 日本語、日本での生活についてのアンケート 3) 簡単な自己紹介 4) 【漢字】「申し送り」を書いてもらう	← 回を重ねる毎に目標を明確化していく ← ニーズの掘り起こし ← ひらがなだらけであることを自覚してもらう	← (簡単なチェックシート) ← 用紙 Quizlet
2~4 回	ユニット 1~ユニット 3	U1: がんばりますので、よろしくお願ひします。	
5 回	ユニット 1~ユニット 3 の復習	【自己紹介をする】 U2: 初めて日本人と話したとき、ドキドキしまし	

		た。【いろいろな気持ちを表現する】 U3:お金が足りるかどう、心配でした。【こんなとき、どうする?】	
6～8回	ユニット4～ユニット6	U4:浅草のお寺は1400年前に建てられたんですよ。【自分の国のおすすめの場所・物を紹介する】	
9回	ユニット4～ユニット6の復習	U5:漢字の読み方がわからないんですが…。【方法をたずねる・わからないことを聞く】 U6:やったー!勝った!【状況を聞く】	
10～12回	ユニット7～ユニット9	U7:操作が簡単で、使いやすいんです。【いい物を人に勧める】	
13	ユニット4～ユニット6復習	U8:大変そうですね。手伝いましょうか。【自分から申し出る】 U9:子どものときに、はやっていた遊びは、ローラースケートです。【子どもときのことについて話す】	
14～16回	ユニット10～ユニット12	U10:すみません、予約をしたいんですが…。【予約をする】	
17回	ユニット10～ユニット12の復習	U11:頑固なところが似ています。【身近な人を紹介する。】 U12:外国語を勉強するなら、その国の先生に習う方がいいと思います。【意見を言う】	
18～20回	ユニット16～ユニット18	U16:送ってくれて、ありがとう。【うれしかった思い出を話す】 U17:赤いセーターを着ている人は誰ですか。【写真を説明する】 U18:借りた本を持ってくるのを忘れてしまいました。【謝る】	
21回	中間発表原稿を作成(学習者がトピックを選択して話す→ユニット16または17)	自分自身について語る U16:【うれしかった思い出を話す】 U17:【写真を説明する】	
22回	返却した原稿を清書してから発表練習	←決められた時間を守る	
23回 1.5H	1) 企業の方をご招待して 発表①	←発表+質問に答える	
24回	中間振り返り 【口頭表現】 【漢字】 「申し送り」を書いてもらう	←自分で漢字が使えるようになったことに気づき、モチベーションアップにつなげる。	振り返りシート ←+学習者自身の振り返りシート
25～ 27回	ユニット13～15	U13:帽子をかぶったまま、部屋に入ってはいけません。【国のルールやよくないと言われている	

28回	ユニット13～15の復習	<p>ことについて話す】</p> <p>U14:携帯電話をトイレに落としてしまったんです。【失敗談を話す】</p> <p>U15:進度6だったそうです。【聞いた話をもとに人に伝える】</p>	
29～31回	ユニット19～21	<p>U19:バランスよく食べないと、体に悪いですよ。 【相手に忠告する】</p> <p>U20:今、ちょうど電車に乗るところなんです。 【電話をする】</p> <p>U21:誰かに傘を間違えられました。【状況を聞く・答える】</p>	
32回	ユニット19～21の復習		
33～35回	ユニット22～24	<p>U22:日本へ来てから、運動しなくなりました。 【日本へ来て変わったことについて話す】</p> <p>U23:海が見えて、雰囲気がいいんです。【好きな場所を紹介する】</p> <p>U24:温泉へ行こうと思っているんです。【経験に基づいてアドバイスする】</p>	
36回	ユニット22～24復習		
37～39回	ユニット25～27	<p>U25:電車の中でケータイを使わないでほしいです。【相手に苦情、文句を言う】</p> <p>U26:お酒を飲むと、頭が痛くなるんです。【自分の体質について説明する（誘い・依頼を断る）】</p> <p>U27:日本語が上手になったと言われて、うれしかったです。【うれしかったこと、いやだったことについて話す】</p>	
40回	ユニット25～27復習		
41～43回	ユニット28～30	<p>U28:買いたい物があるんですが、日本語の名前がわからないんです。【名前がわからない物を説明する】</p> <p>U29:事前に予約をしておいたほうがいいですよ。【準備の相談をする】</p> <p>U30:5人以上って書いてあるんですが…。【問い合わせる】</p>	
44回	ユニット28～30復習		
45回	48回目のための発表原稿を書いて提出 ユニット22	<p>U22:【日本へ来て変わったことについて話す】</p>	
46回	チェックして返却された発表原稿を清書してもらう		
47回	1) 発表練習 2) 【漢字】「申し送り」の完成形(30分)	←教師が考えた内容の「申し送り」を書いてもらう。	←漢字記入シート「

48回平日	自己評価と発表② 1) Can-do のチェック 2) 企業の方をご招待して学習者の成果を見ていただく。←コメントをいただく 3) 漢字頑張った賞などの賞を渡す		Can-do シート 評価シート
-------	---	--	---------------------

4. 評価

1) 評価項目

- ①口頭能力
- ②漢字

2) 評価方法

- ①発表（スピーチ） →ループリック評価
 *スピーチは400字～600字のスピーチ（目安は3分）
- ②漢字 →テストを実施（内容は「申し送り」の文章を使う）

以上